

Trans-Sagami Yacht Race 2019 参加各艇へ

外洋特別規定の遵守に関して

Trans-Sagami Yacht Race には**外洋特別規定** (Offshore Special Regulations) 2018-2019 の**モノハル・カテゴリー 3** が適用されています。参加艇は、この**規定の遵守が参加資格**とされています。

1. 規定本文に従って実艇を確認すること

申告書は記入することが目的ではありません。 規定で要求されている必要な備品や設備が適切に装備されているかを、**実艇での装備や備品を確認して記入する必要があります。**

申告書は規定本文の省略であり、かつ全項目が網羅されていません。規定の内容理解および確認においては**規定本文を用いての確認**が必要です。

2. インспекション

申告書は参加艇が規定を遵守しているかどうかを確認する一手段です。また、**レース主催者は参加艇が規定に従っているか随時検査する権利**があります (OSR 2.03)。備品においては単に搭載しているだけで無く、その設置位置が指定されているもの (ライフブイ・ヒービングライン・ジャックスティなど) もありますので、レース中は正しい位置に設置ください。

外洋特別規定 (Offshore Special Regulations) は、ヨットレースの**国際規定**です。また、レースを実施するにあたっての**備品・設備・トレーニングの「最低基準」**です (OSR 1.01.1)。あくまでも**「最低基準」**であり、**艇や乗員の安全を保証するものではありません** (OSR 1.01.3)。

本レースに参加するにあたり、規定で定められた備品や設備以外に自艇に必要と考えるものがあれば自己の責任にて準備する必要があります。→艇責任者の責任 (OSR 1.02)

申告書記入時は必ず規定本文で確認しながら！

外洋特別規定 モノハル・カテゴリー 3 規定本文↓

http://www.jsaf-anzen.jp/pdf/OSR2018_Mo3_v02_0220.pdf



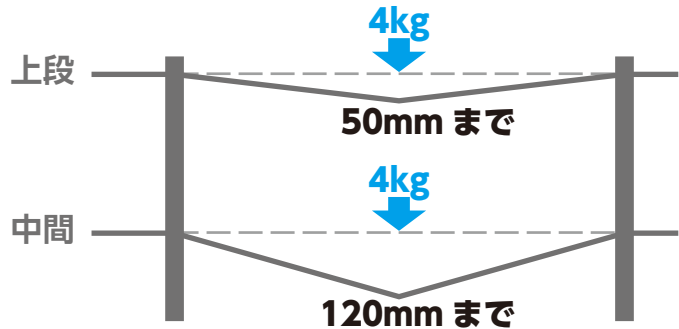
モノハル・カテゴリー 3 主な注意点 -1

外洋特別規定 (Offshore Special Regulations) 2018-2019 のモノハル・カテゴリー 3 において特に注意すべき点を以下に記します。この注意点は遵守すべき規定のごく一部で、規定全てではありません。また、説明は要約ですので**確認は規定本文**で行ってください。

1 ライフライン

ライフラインのたわみ OSR 3.14.1 i)
4kg の荷重をかけた時に、
上段は 50mm、中間は 120mm まで

ライフラインの素材 OSR 3.14.6
ステンレスワイヤー



2 通信設備 OSR 3.29 OSR では以下の 2 点の通信設備が必要です。

1 25 ワット VHF or 衛星携帯電話
要マストヘッドアンテナ *1. 下記参照

+

2 ハンディ VHF
防水タイプ

*1. 本レースでは、衛星携帯電話を船舶用トランシーバーとして認定 (レース公示 1-5.a)

*2. 本レースでは、上記 OSR の通信設備に加え携帯電話または船舶電話 2 台 (レース公示 4-1. e)

3 ジャックスティ OSR 4.04.1

ジャックスティは搭載してるだけでは駄目です。
デッキ上、左右両側に独立して設置してある必要があります。

4 消火器 OSR 4.05

消防カバー：1 個 (OSR 4.05.1) 炊事設備近辺に設置。
消火器：2 個 (OSR 4.05.2) 異なる位置に設置。

5 アンカー OSR 4.06

アンカー：2 個 LOA8.5m (28 フィート) 以下の艇は 1 個。

6 応急操舵装置 OSR 4.15

操舵装置が「ステアリングホイール (ラット)」の艇は非常用ティラーが必要 (OSR 4.15.1)
全ての艇で「ラダーが使用できない場合」の操舵方法を明示する必要 (OSR 4.15.2)

7 グラブバッグ (持ち出し袋) OSR 4.21

2019 年新設

2019 年の年次改訂でグラブバッグ (持ち出し袋) がモノハル艇にも適用されました。
中身やグラブバッグ自体の仕様は規定本文で確認ください。

グラブバッグの中身の内、他の項目で既に搭載義務がある備品は追加搭載ではありません。
ただし、他の項目に記載が無いものは追加で揃える必要があります。

例. a) ハンディ VHF と予備電池 →3.29.05 でハンディ VHF は既に搭載義務があるが、
予備電池の記載が無いので新たに用意する必要がある。

d) ストロボライトと予備電池→他の項目での記載が無い為、新たに用意する必要がある。

モノハル・カテゴリー 3 主な注意点 -2

8 ライフブイ・ヒービングライン・リカバリースリング OSR 4.22

以下 3 点の落水救助対応備品が必要です。

1 ライフブイ (OSR 4.22.3)
自己点火灯・笛・ドロークの 3 点付
ヘルムスマンの手の届く位置に設置。



2 ヒービングライン (OSR 4.22.7)
直径 6mm 以上。長さ 15-25m。
コクピットですぐに使える位置に設置。



3 リカバリースリング (OSR 4.22.8)
a) 紐：LH の 4 倍または 36m 以上
b) 浮力部：浮力 90 ニュートン以上
c) 強度：乗員を吊り上げる



落水者に投げて、落水者が浮き輪として、
または落水地点特定などに使用。
使用時、艇には結びつけない！

落水者を艇に引き寄せる、または艇上
に戻す時に使用。
使用時、一端を艇には結びつけておく！

9 信号焔 OSR 4.23 以下 2 種 6 点の信号焔が必要です。

1 Red Hand Flares : 4 個 (SOLAS LSA コード III 3.2 適合品)

日本名「信号紅炎」として売られている。SOLAS LSA コード III 3.2 適合品であること。

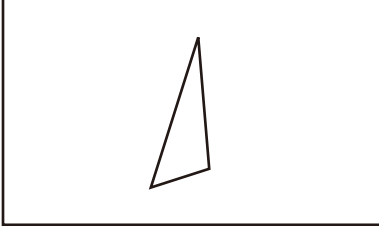
2 Orange Smoke Flares : 2 個 (SOLAS LSA コード III 3.3 適合品)

日本名「発煙浮信号」として売られている。SOLAS LSA コード III 3.3 適合品であること。

* 船検セットでは SOLAS LSA コード III 3.3 適合の Orange Smoke Flares (発煙浮信号) が
1 つしか無い場合がありますので、ご注意ください！

10 荒天用セール OSR 4.26 以下 2 種類の荒天用セールが必要です。

1 ヘビーウェザージブ



+

2 ストームトライスル or メインリーフ



11 ハーネス用テザー OSR 5.02

ISO 12401 適合品 (OSR 5.02.2)。

1m 以下でフックできる全乗員分のテザー (OSR 5.02.3)。

現在 ISO 12401 適合品で 1m 以下の 1 本テザーは商品と
して見かけることがない。

従って、クリップが二股に分かれている中間フック付きの
テザーが必要となる。

全長 2m 以下だが 1m 以下でフックできない



Single clip, stretch 2 metres
DW STR/2LE



Double clip, stretch 2 metres
DW STR/02E



Double clip, stretch 2 metres
DW STR/3LE



Triple clip, stretch 2 metres
DW STR/03E

短い方が 1m 以下でフックできる